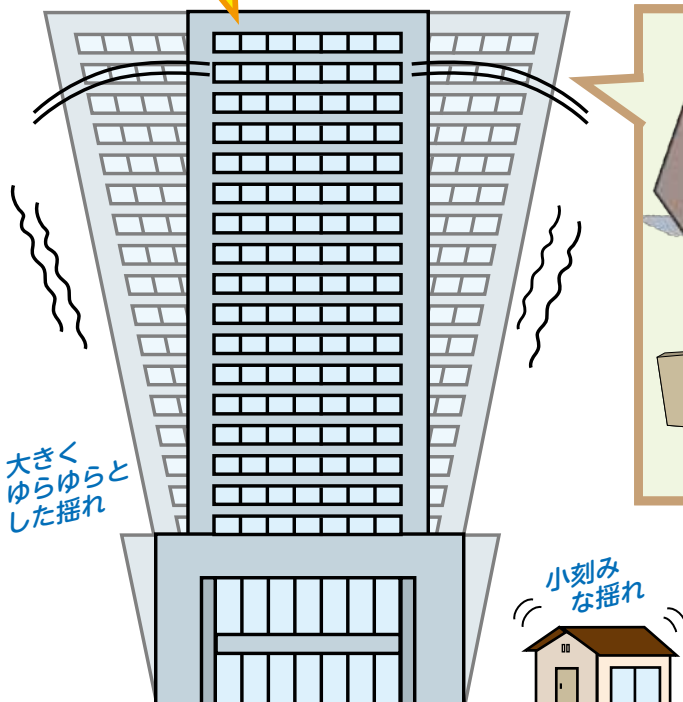


緊急地震速報の発表基準に 長周期地震動が加わりました

高い建物ほど要注意!

大きな地震が発生したとき、一往復するのにかかる時間の長い揺れ(長周期地震動)が生じ、震源から遠方の地域にも大きな被害が出る恐れがあります。震源が遠いからと安心せず、緊急地震速報を見聞きした場合には、速やかに身を守る行動をとりましょう。



▼きゅぽらんも
起震車で体験!



動画は
Twitterを
チェック!



高層階では立っていることが困難になり、固定していない家具などが移動・転倒したり、エレベーターが故障するなどの被害が発生する恐れがあります!



▲市ホームページ

長周期地震動とは

- 高層ビルやタワーマンションなど高い建物ほど大きくゆらゆらとした揺れが長時間続きます。
- 震源が浅くマグニチュードが大きい地震ほど発生しやすいと考えられています。
- 地表や低層建物の一階で計測する「震度」とは別に、揺れかたから4段階の「階級」に分類されます。

市は震度5弱以上または長周期地震動の階級3以上が予想された場合に、防災行政無線による**緊急地震速報の放送**を実施します。

※携帯電話事業者による「緊急速報メール」は震度4以上または長周期地震動の階級3以上で配信される場合があります。

緊急地震速報

すぐに身を守る行動を!

室内

姿勢を低くして、頭を保護し、固定された丈夫な机の下など安全な場所に避難しましょう。

商業ビルなど

安全な場所で頭を保護し、吊り下がっている照明などの下から離れましょう。また、出口や階段に殺到せず、落ち着いて行動しましょう。

エレベーター

避難には使用せず、最寄りの階で停止させ、すぐに降りましょう。

事前に準備しましょう!

- 寝る場所の近くにはできるだけ家具を置かない
- 本棚などは本が落ちてこないよう、落下防止バーを設置する
- キャスター付きの家具はキャスターロックで移動を防止する

問い合わせ…危機管理課 ☎048-242-6357 FAX048-257-3535